

○三人上戸酒癖

△ア、悲しい〜米は母年  
出来が宜のよ天気が宜も字直段  
も宜〜と言ふりんだがう豊  
年ハ續々金満家ハ殖る実ナ  
仕方ハ泣言をかり〜ホリ  
ヲ〜  
△エ、夫とこらウ  
籠め〜此方ハ毎日〜繁昌  
ももの〜品物を賣て困ラ  
賣て通ハ千兩一時ト都々逸  
有ア籠めハ腹〜てあ〜ね  
ワイ。ヤイ。アハ〜ハ〜  
此奴可笑しい貴公達の言ハ  
皆目出度事〜ハ〜夫を怒  
たり泣〜く〜酒〜氣〜知  
あ〜テハ〜  
△エ、馬鹿ア  
言癖〜成無〜私も癪  
小〜  
△ナニ癪ハ  
るハ妙酒を呑たら治りさ  
もぢやテ酒癪藥の長〜  
△ナニ私癪ハ  
起り過たの〜から治りやせん  
△ソリヤア癪〜たのぢやあ  
るよ〜酌過〜のだハ〜

竹葉舎金升



生

明治廿一年七月廿日印刷同年七月廿日出版

著作 印刷兼發行者 神田區松任町三番地小川夕ヶ